

2023 年度冬期地区交流会報告

例年通り、今年も、「焼肉ビジネスフェア」の開催に併せて、2024 年 1 月 16 日（火）に東京での交流会を皮切りに、全国 5 箇所（苫小牧、東京、知立、京都、久留米）で開催されました。

全国 5 か所での地区別交流会の参加者総数は、正会員延べ 174 名、賛助会員延べ 326 名、スタッフその他の方も含めて、合計 510 名となりました。

地区交流会は各ブロックの理事や総代による開催宣言でスタート致しました。金 信彦協会会長の挨拶の冒頭には、能登半島地震による被災者へのお見舞いの言葉がありました。焼肉業界は予想を超えるインバウンド需要の増加により、地域格差はあるものの全体としてコロナ禍以前を上回る業績となりました。その一方、コスト上昇による収益力の低下や慢性的な人手不足がいたるところで問題となって、まだまだ安閑としている状況にはありません。その後、開催店主挨拶、焼肉業界の情勢報告及び焼肉協会の検定試験の結果報告がそれぞれからありました。

次に、「第 3 回焼肉料理コンテスト」について事業活動・広報委員会の委員より報告があり『熱々、チゲ対決』と銘打った決勝大会の様子のビデオ放映がありました。

休憩を挟んだのちに、出席の正会員各社より近況報告がありました、総じて 12 月の売上は好調に推移したとの報告が多い一方、人手不足から予約が受けきれない等、人手不足解消の課題が浮き彫りになりました。インフレの影響で賃金の上昇については、経営全体での対応が肝要と捉えて、価格対策を講じる予定という正会員の声も印象的でした。

また、恒例の賛助会員による新商品紹介やサービスの案内等が行われましたが、若者のアルコール離れを象徴するようなノンアルコール商品の紹介や物価高を反映する値上げ対策、店舗 DX 化や外国人雇用対策、今後のインフレ経済下での対策についての案内も多く聞かれました。

また、すべての会場において、新井名誉会長から会員の皆様の参考になる話を伺うことが出来ました。

皆様、今年度の地区交流会にご参加頂きまして誠にありがとうございました。